

第 2 回 山梨県自転車活用推進計画策定委員会

平成30年12月20日(木)

計画目的・計画目標・施策の方向性(案)



「サイクル王国やまなし」の実現に向け、県経済の活性化や県・市町村の自転車活用施策推進に寄与する計画目的を設定する。

計画策定後は継続的に、フォローアップや見直しを行うものとする。

計画策定の背景

- ・ 人口減少が予想されるなか、地域の維持・発展には県経済の活性化が必要である。
- ・ 自転車の多様な利用を促進するため、地域の実情に応じた施策を定めた計画の策定が求められている。

目指すべき姿

地域の強みや特色を活かした観光振興と安全で快適なサイクリング環境からなる「サイクル王国やまなし」の実現

計画目的（案）

山梨県における実施すべき施策を明確化し、県民及び行政・民間事業者等が一体となって自転車の活用の推進に取り組んでいくための指針として策定する。



山梨県の目指すべき姿である「サイクル王国やまなし」を実現するため、課題を解決し、エリア毎の特徴を活かした「山梨県自転車活用推進計画」策定に向け、4つの計画目標(案)を設定。本県は、富士山をはじめ、豊富な観光資源を有していることから、「観光」に重点をおいた施策の展開を図る。

計画目標（案）

基本方針

観 光

サイクリングの利用者層に応じた魅力づくりと受入環境の形成

観光資源やオリンピックコース、既存施設など、山梨県を持つポテンシャルを活用しながら、地域とともに受入環境を整備する

まちづくり・環境

広域サイクリングネットワークと市街地の自転車通行空間の形成・環境負荷の低減

自転車ネットワーク計画を策定し、山梨県の実情に合った自転車通行空間の整備を推進するとともに、自転車活用による日常的なエコ活動を促進する

安全・防災

自転車と自動車の共存に向けた安全対策や啓発活動の推進・災害時の活用

県民および来訪者のそれぞれに対応した交通安全啓発を行うとともに、災害時に自転車を有効に使えるよう体制を整える

健康・スポーツ

自転車通勤の促進や既存自転車施設活用等による健康増進

子どもから大人まで、県民の誰もがサイクルスポーツを気軽に楽しめる環境をつくり、県民の健康増進につなげる



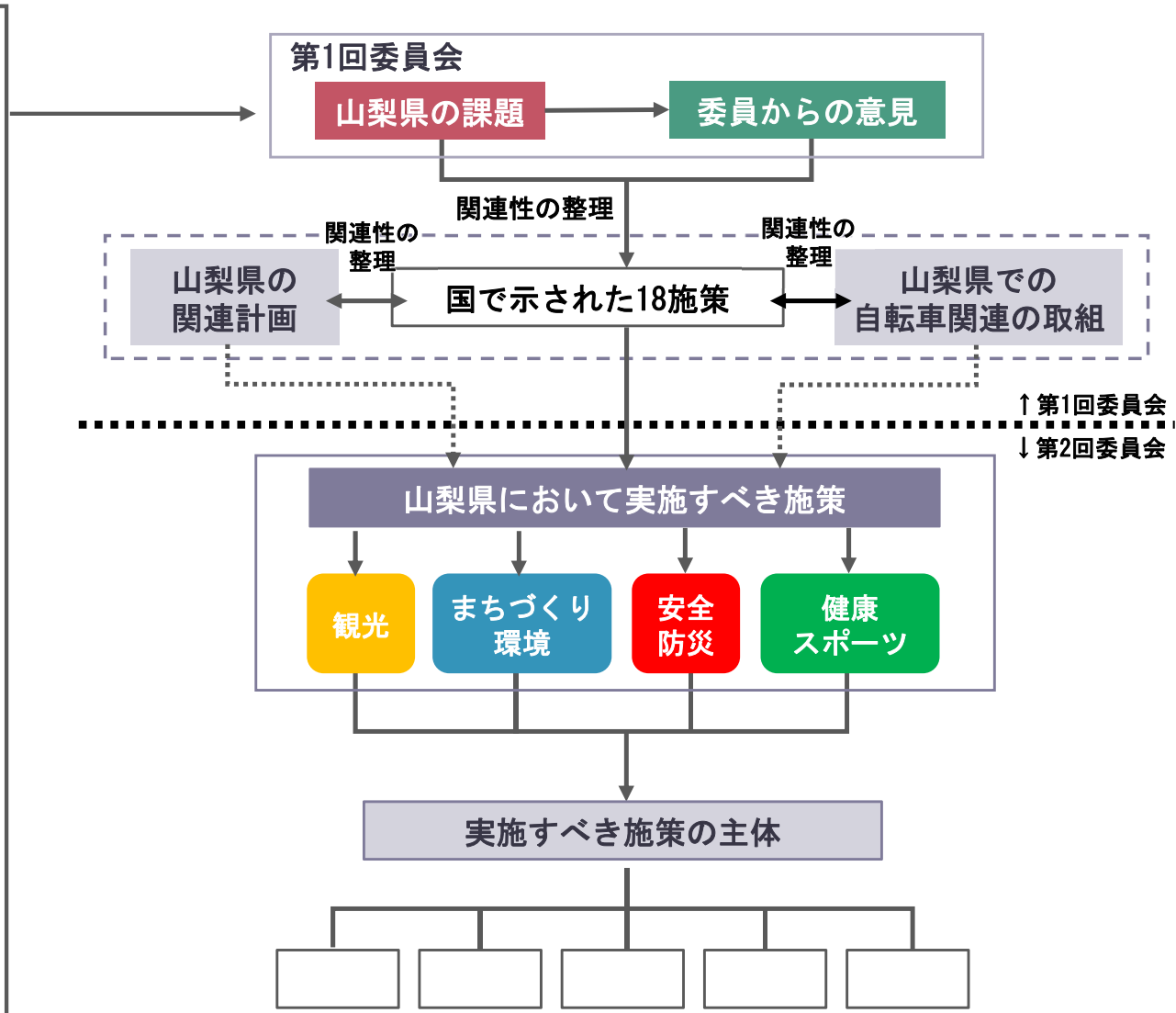
- 山梨県の特性と現状から得られた課題と、それらに対する委員会での意見について、国で示された18施策との関連性を整理しながら、山梨県において実施すべき施策を検討した。
- なお、山梨県の関連計画、既に有する自転車関連の取組についても、国で示された18施策との関連性を整理した。

山梨県の特性と現状から得られた課題

- 地域活性化に向けた観光振興による交流人口拡大が必要である。
- 多様で特色のある観光資源を活用したサイクルツーリズムの展開が必要である。
- 首都圏からのアクセス性の高い公共交通網を活用した自転車利用者の受入環境を向上させる必要がある。(サイクリストや家族連れ等、様々な利用者層を対象)
- 道の駅等の地域の拠点を活用した自転車施策を向上させる必要がある。
- 観光地を中心にシェアサイクル等の導入を促進する必要がある。(スポーツタイプの電動アシスト自転車導入等)
- 外国人観光客が自転車を利用しやすいようにする環境を向上する必要がある。
- 地勢上の特徴を活かすため、エリア別に施策を展開する必要がある。
- 道路環境の安全性を向上させる必要がある。
- 公共交通との連携による移動支援を向上する必要がある。
- 高齢者も含め、幅広い世代の健康増進が必要である。(自転車を活用した健康づくりの促進)
- 通勤時の自動車から自転車への利用を促進し、市街地部の渋滞緩和と温室効果ガス排出量の抑制を推進する必要がある。
- 自転車利用者に対し通行ルールの周知とともに、自動車利用者に対して自転車通行を意識する啓発活動を推進する必要がある。
- 災害時における自転車利用方法を周知する必要がある。
- 自転車を活用した健康効果の周知や健康増進を応援する仕組みづくりが必要である。
- 特徴的な自転車競技施設等を広報することで、サイクルスポーツ振興を支援する必要がある。
- 公用自転車の導入や自転車を使用した業務活動等への支援が必要である。

委員からの意見

次頁参照





■ 第1回委員会における検討では、課題や行うべき施策について委員より以下の意見が挙げられた。

委員からの意見

観光	・地域住民と一緒に観光受入が重要
	・サイクリストだけではなく、女性やファミリー層を呼び込めるとよい
	・オリンピックコースをレガシーとして残していくための環境整備（道路状況や休憩施設等）
	・リニア中央新幹線等、拠点を結ぶ交通手段と自転車を複合させることを検討
	・山梨県は、首都圏からのアクセスに有利で大自然を感じることができる
	・インバウンドに対応した表示が必要
	・インバウンド対応の標識等の整備が必要
	・ガイドツアーは、収益が出る可能性を持っている。
	・オリンピックの開催を契機に、県民の自転車意識の向上に寄与するイベントが開催されると良い（宇都宮のジャパンカップのようなイベントが開催されると良い）
	・整備当初から充実したシェアサイクルの実施を検討（県内で30箇所くらいのポート）
まちづくり 環境	・ガソリンスタンド（山梨県石油商業組合、石油協同組合）を拠点とした展開を検討（山梨オリジナルとしてのモデルの提示）
	・ガソリンスタンドに仏式自転車用の変換バルブを置くことで、サイクルピットとなり得る
	・自転車で走りやすい道をつないでネットワークを形成することを検討
	・自転車ネットワーク計画を組み込んだ計画
	・重点地域の設定を検討（自転車の乗りやすい地域を高めていく）
安全 防災	・歩道利用がないところは、歩道を狭めて自転車通行空間を確保することを検討
	・道路改良時は、自転車専用通行帯などの整備が必要
	・安全対策に資する路面標示の実施（幹線道路・観光道路だけではなく、通学路や農道等、自転車と車が共存できるよう、幅広く矢羽根等を引いてほしい。）
	・サイクリングルートにおける安全対策のガイドラインの策定（現在、どこの県にも存在しないため、策定すればトップランナーになれる。）
	・矢羽根等の道路標示の自動車・自転車利用者への周知
	・外国人に対する交通ルールの啓発
	・カーゴ(リアカー付)自転車のルール作り
	・「思いやり1.5m運動」を取り入れられるとよい
	・自転車保険（賠償責任保険）についても検討が必要
	・幼児、小学生など小さなうちからの自転車に関する安全教育
健康 スポーツ	・中高生への安全教育が重要
	・行動変容を促すためのプログラム制度が構築できるとよい
	・境川自転車競技場を使った親子を対象とした自転車教育を検討
	・災害時に自転車を活用できる仕組み（普段からの自転車を利用する仕組み）
健康 スポーツ	・高齢者になる前からの自転車を利用する仕組み
	・解禁となっているタンDEM自転車の活用



■ 国の推進計画に示された目標と実施すべき施策（18施策）は下記のとおりである。

目標1 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

1. 地方公共団体における自転車活用推進計画の策定を促進するとともに、歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された自転車通行空間の計画的な整備を促進。（基本方針①）
 【指標】自転車活用推進計画を策定した地方公共団体数
 [実績値 0団体（2017年度）⇒目標値 200団体（2020年）]
 【指標】都市部における歩行者と分離された自転車ネットワーク概成市町村数
 [実績値 1市町村（2016年度）⇒目標値 10市町村（2020年度）]
2. 路外駐車場や荷さばき用駐車スペースの整備、自転車通行空間上の違法駐車取締りの推進等により、自転車通行空間の確保を促進。（基本方針②）
3. シェアサイクルと公共交通機関との接続強化や、サイクルポートの設置促進等により、シェアサイクルの普及を促進。（基本方針③、④）
 【指標】サイクルポートの設置数
 [実績値 852箇所（2016年度）⇒目標値 1,700箇所（2020年度）]
4. 地方公共団体と鉄道事業者の連携を強化すること等により、地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備を推進。（基本方針⑤、⑥）
5. 社会実験等を踏まえて、駐輪場やシェアサイクルの運営、放置自転車対策等の効率化に向けて自転車のIoT化を促進。（基本方針⑦）
6. 歩行者・自転車中心のまちづくりと連携し、生活道路における通過交通の抑制や無電柱化と合わせた自転車通行空間の整備についての総合的な取組を実施。（基本方針⑧、⑨）

目標2 サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

7. 自転車競技の普及・振興に向け、国際規格に合致した自転車競技施設の整備等を促進。（基本方針④）
8. 公道や公園等の活用により、安全に自転車に乗れる環境の創出を促進し、幅広い年齢層におけるサイクリスポーツの振興を推進。（基本方針⑩）
9. 国民の健康に関する理解力を底上げし、自転車を利用した健康づくりに関する広報啓発を推進。（基本方針⑨）
10. 企業等への呼びかけ等により、自転車通勤等を促進。（基本方針⑩）
 【指標】通勤目的の自転車分担率
 [実績値 15.2%（2015年度）⇒目標値 16.4%（2020年度）]

目標3 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現

11. 関係者が連携して、自転車に関する国際会議や国際的なサイクリング大会等の誘致を推進。（基本方針③）
12. 官民が連携した走行環境の整備や、サイクルトレインの拡大等によるサイクリストの受け入れ環境の整備等により、世界に誇るサイクリング環境を創出し、サイクルツーリズムを推進。（基本方針④）
 【指標】先進的なサイクリング環境の整備を目指すモデルルートの数
 [実績値 0ルート（2017年度）⇒目標値 40ルート（2020年度）]

目標4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

13. 自転車が備えるべき安全性に関する品質基準について、国民に分かりやすく示し、高い安全性を備えた自転車の普及を促進。（基本方針⑤）
 【指標】自転車の安全基準に係るマークの普及率
 [実績値 29.2%（2016年度）⇒目標値 40%（2020年度）]
 【指標】自転車乗用中の交通事故死者数 ※本指標については13～17に対応
 [実績値 480人（2017年）⇒目標値 第10次交通安全基本計画の計画期間に、自転車乗用中の死者数について、道路交通事故死者数全体の減少割合以上の割合で減少させることを目指す。（2020年度）]
14. 自転車の安全な利用に寄与する人材の知識・技術の向上を促進し、より安全な自転車の点検整備を促進するための広報啓発等の取組を促進。（基本方針⑥）
 【指標】自転車技士の資格取得者数 ※本指標は13及び14に対応
 [実績値 80,185人（2017年度）⇒目標値 84,500人（2020年度）]
15. 国民の交通安全意識の向上に資する広報啓発活動の推進や、自転車利用者に対する指導・取締りの重点的な実施により、自転車の安全な利用を促進（基本方針⑧）
16. 自転車を含む交通安全教育を推進するため、学校における交通安全教室の開催等を推進。（基本方針⑧）
 【指標】交通安全について指導している学校の割合
 [実績値 99.6%（36,325校）（2015年度）⇒目標値 100%（36,487校）（2019年度）]
17. 地方公共団体における自転車活用推進計画の策定を促進するとともに、歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された自転車通行空間の計画的な整備を促進。（再掲）
18. 危機管理体制を強化する等、災害時における自転車の活用を推進することにより、地域社会の安全・安心を向上。（基本方針⑫）



■ 国で示された18施策の内容をベースに、「県内市町村の施策」、「計画条件」、「関連計画」等を考慮し、山梨県の4つの計画目標の達成に向け、検討が必要な施策を整理する。

山梨県の計画目標(案)		国で示された18施策の内容等	
観光	計画目標 1 サイクリングの利用者層に応じた魅力づくりと受入環境の形成	施策◎ オリンピックコースのレガシーとしての活用 (山梨県独自施策)	
		施策 3	シェアサイクルの普及促進
		施策 5	自転車のIoT化の促進
		施策 11	国際的なサイクリング大会等の誘致
		施策 12	世界に誇るサイクリング環境の創出
まちづくり 環境	計画目標 2 広域サイクリングネットワークと市街地の自転車通行空間の形成・環境負荷の低減	施策 1	自転車通行空間の計画的な整備推進
		施策 2	路外駐車場の整備および違法駐車取締りの推進
		施策 4	地域のニーズに応じた駐輪場の整備推進
		施策 6	まちづくりと連携した総合的な取組の実施
		施策 10	自転車通勤等の促進
安全・防災	計画目標 3 自転車と自動車の共存に向けた安全対策や啓発活動の推進・災害時の活用	施策 7	国際規格に合致した自転車競技施設の整備促進
		施策 13	安全性の高い自転車普及の促進
		施策 14	自転車の点検整備の促進
		施策 15	自転車の安全利用の促進
		施策 16	学校における交通安全教育の推進
		施策 18	災害時における自転車活用の推進
		その他	保険などの加入義務を促進させる取組の推進
健康 スポーツ	計画目標 4 自転車通勤の促進や既存自転車施設活用等による健康増進	施策 7	国際規格に合致した自転車競技施設の整備推進
		施策 8	サイクルスポーツ振興の推進
		施策 9	自転車を活用した健康づくりの推進
		施策 10	自転車通勤等の促進



- 「観光」及び「まちづくり・環境」について、計画目標・基本方針を踏まえた山梨県における施策の方向性(案)と国の18施策との関連を示す。

観 光

計画目標(案)	サイクリングの利用者層に応じた魅力づくりと受入環境の形成	
基本方針	観光資源やオリンピックコース、既存施設など、山梨県の持つポテンシャルを活用しながら、地域とともに受入環境を整備する	
	山梨県における施策の方向性(案)	対応する国で示された18施策
<input type="checkbox"/>	オリンピック自転車ロードレースコースのレガシーとしての活用	施策◎ オリンピック自転車ロードレースコースのレガシーとしての活用【山梨県独自】
<input type="checkbox"/>	観光資源等を活用したモデルルート等の設定と環境整備	施策12 世界に誇るサイクリング環境の創出
<input type="checkbox"/>	観光資源等を活用したサイクルツーリズムの展開	
<input type="checkbox"/>	オリンピック開催に伴う観光客の誘客	施策11 国際的なサイクリング大会等の誘致
<input type="checkbox"/>	観光地を中心としたシェアサイクル等の利便性向上	施策 3 シェアサイクルの普及促進

まちづくり・環境

計画目標(案)	広域サイクリングネットワークと市街地の自転車通行空間の形成・環境負荷の低減	
基本方針	自転車ネットワーク計画を策定し、山梨県の実情に合った自転車通行空間の整備を推進するとともに、自転車活用による日常的なエコ活動を促進する	
	山梨県における施策の方向性(案)	対応する国で示された18施策
<input type="checkbox"/>	自転車ネットワーク計画の策定	施策 1 自転車通行空間の計画的な整備 施策 6 まちづくりと連携した総合的な取組の実施
<input type="checkbox"/>	自転車通行空間の整備	
<input type="checkbox"/>	自転車通勤の促進	施策10 自転車通勤等の促進



- 「安全・防災」及び「健康・スポーツ」について、計画目標・基本方針を踏まえた山梨県における施策(案)と国の18施策との関連を示す。

安全・防災

計画目標(案) 自転車と自動車の共存に向けた安全対策や啓発活動の推進・災害時の活用

基本方針 県民および来訪者のそれぞれに対応した交通安全啓発を行うとともに、災害時に自転車を有効に使えるよう体制を整える

山梨県における施策の方向性(案)

対応する国で示された18施策

自転車の通行ルールについての啓発活動

施策15 自転車の安全利用の促進

自動車運転者に対する自転車へ配慮した運転の啓発活動

自転車損害賠償保険等への加入促進

その他 保険などの加入義務を促進させる取組の推進

学校等における交通安全教室の実施強化

施策16 学校における交通安全教育の推進

災害時における自転車活用の推進

施策18 災害時における自転車活用の推進

健康・スポーツ

計画目標(案) 自転車通勤の促進や既存自転車施設活用等による健康増進

基本方針 子どもから大人まで、県民の誰もがサイクルスポーツを気軽に楽しめる環境をつくり、県民の健康増進につなげる

山梨県における施策の方向性(案)

対応する国で示された18施策

自転車を活用した健康増進の推進

施策 9 自転車を活用した健康づくりの推進

自転車競技施設の活用

施策 8 サイクルスポーツ振興の推進

タンデム自転車の活用促進の検討

通勤や業務における自転車の活用

施策10 自転車通勤等の促進



山梨県における施策の方向性(案)

オリンピック自転車ロードレースコースのレガシーとしての活用

背景

山梨県における施策の検討

課題 (第1回委員会資料)	—
委員意見 (第1回委員会)	◎オリンピック・ロードレースコースをレガシーとして残していくための環境整備（道路状況や休憩施設等）

現在の山梨県における取組等

- 東京オリンピック自転車競技ロードレースコース整備事業

取組(案)

- ロードレースコース沿線の景観整備
- ロードレースコース沿線の自転車利用環境整備
- オリンピック開催記念整備（通称名設定、標識・モニュメント等設置）
- レガシーとして官民が連携して活用戦略を検討・実行する組織等の設置

2020年オリンピック ロードレースコース概要

- 第32回オリンピック(2020/東京)における自転車ロードレースのコースが、山梨県の道志村・山中湖を経由するコースに決定した



1964年東京オリンピック 競歩記念碑【府中市】

- 1964年の東京オリンピックの競歩コースとなったことを記念して、記念碑および標識を設置



出典(画像)：府中市 きらり☆府中
魅力発信プロジェクト推進委員会HP



山梨県における施策の方向性(案)

観光資源等を活用したモデルルート等の設定と環境整備

山梨県における施策の検討

課題
(第1回委員会資料)

- ◎首都圏からのアクセス性の高い公共交通網を活用した自転車利用者の受入環境を向上させる必要がある(サイクリストや家族連れ等、様々な利用者層を対象)
- ◎道の駅等の地域拠点を活用した自転車施策を向上させる必要がある

委員意見
(第1回委員会)

- ◎サイクリストだけではなく、女性やファミリー層を呼び込めるとよい
- ◎リニア中央新幹線等、拠点を結ぶ交通手段と自転車を複合させることを検討
- ◎山梨県は、首都圏からのアクセスに有利で大自然を感じることができる
- ◎地域住民と一緒に観光受入が重要
- ◎ガソリンスタンドを拠点とした展開を検討
- ◎ガソリンスタンドに仏式自転車用の変換バルブを置くことで、サイクルピットとなり得る
- ◎インバウンドに対応した標識・表示等が必要

現在の山梨県における取組等

- ・山梨サイクルネット構想(富士北麓地域)による自転車利用環境の向上推進

背景

取組(案)

- ・観光資源や既存サイクリングロード、農道等を活用したモデルルートの設定
- ・官民連携による先進的なサイクリング環境の整備
- ・サイクリングルートの紹介およびアクセスや駐車場情報等の提供
- ・拠点施設(駅、道の駅等)でのサイクルラック・工具貸出、シェアサイクル等のサイクリスト向けのサービスの提供
- ・モデルルート沿いの都市公園等をサイクリングの休憩ポイントとして整備
- ・外国人に対応した環境整備の検討及び施設の更新
- ・サイクルトレイン・サイクルバスの導入の検討

道の駅の自転車拠点化【道の駅富士川】

- 道の駅富士川ではNPO法人と連携して、スポーツサイクルの普及に取り組んでいる
- スポーツタイプ自転車のレンタルやポンプ及び工具の貸し出しの他、イベントの実施、ツールドやまなしサイクリングブースを施設内に設置している





山梨県における施策の方向性(案) 観光資源等を活用したサイクルツーリズムの展開

背景	山梨県における施策の検討	
	課題 (第1回委員会資料)	◎多様で特色のある観光資源を活用したサイクルツーリズムの展開が必要である
委員意見 (第1回委員会)	◎ガイドツアーは、収益が出る可能性を持っている。	

現在の山梨県における取組等

- 「富士の国やまなしを全力で走るサイト」によるモデルコース紹介

- 取組(案)
- エリア別のサイクルツーリズムの取組紹介
 - サイクリングコース、観光スポットの情報発信
 - 土木インフラをベースとしたサイクリングコースの設定、整備
 - 農産物直売所や観光農園を案内するための標識等の整備

サイクリングコースの提案【山梨県】

- 山梨県ではすでに「富士の国やまなしを全力で走る+」のホームページでサイクリングコースを紹介している
- 周辺の駅や駐車場等の交通情報および観光案内を併せて情報提供し、山梨県のサイクルツーリズムをPRすることが考えられる

サイクリングコース紹介
深淵や川谷などの自然を楽しみながら走れるコース

ウェスタンラインコース

ウェスタンラインコースは、富士川西部広域農道であるウェスタンラインを走り甲府盆地を周遊する、パノラマ…

難易度 ★★★☆☆
標高差 674m

フルーツラインコース

フルーツラインコースは、笛吹市から山梨市へ甲府盆地北斜面の果実園帯を抜けるフルーツラインを走るコース…

難易度 ★★★☆☆
標高差 524m

出典(画像) : 山梨県 富士の国やまなしを全力で走る+

観光地をめぐるモデルルートのご案内標示・標識の整備【山梨サイクルネット構想(富士北麓地域)】

- 山梨サイクルネット構想(富士北麓地域)では安全で快適なサイクリング環境整備のひとつとして路面標示及び標識を進めている
- 走行位置の標示だけでなく、立ち寄りスポットの標示等も併せて行っている





山梨県における施策の方向性(案) オリンピック開催に伴う観光客の誘客

背景	山梨県における施策の検討		現在の山梨県における取組等
	課題 (第1回委員会資料)	—	<ul style="list-style-type: none"> ◎オリンピックの開催を契機に県民の自転車意識の向上に寄与するイベントが開催されると良い ◎宇都宮のジャパンカップのようなイベントが開催されると良い

取組(案)	ロードレースコースを活用したサイクリングイベントの在り方の検討
	ロードレースコースや周辺観光地への海外メディアの取材誘致
	ロードレースコースのPR動画の製作及び情報発信

ロードレース開催記念イベントの開催【山梨県】

- 第32回オリンピック(2020/東京)における自転車ロードレースが開催されるのを記念し、大会成功に向けた県民の機運醸成を図ることを目的としたイベントが開催された
- サイクリングVRやスピードチャレンジ等を実施し、県民らが自転車競技に触れ合う機会を提供
- オリンピック開催後も継続的にイベントが開催され、県内外から親しまれるようなイベントの在り方の検討が求められる

出典(画像)：山梨県HP



サイクルサポートステーションの設置【道志村】

- 大会PRと村民の機運醸成を図ること、およびサイクリストがより安心して快適にサイクリングを楽しめるよう「道志みちサイクルサポートステーション」を設置する
- 観光振興やオリンピック後のレガシーにつなげることを目的としており、長期的なサイクリストの誘客につながることを期待される

出典(画像)：道志村HP





山梨県における施策の方向性(案) 観光地を中心としたシェアサイクル等の利便性向上

背景

山梨県における施策の検討

- 課題 (第1回委員会資料) ◎観光地を中心にシェアサイクル等の導入を促進する必要がある(スポーツタイプの電動アシスト自転車導入等)
- 委員意見 (第1回委員会) ◎整備当初から充実したシェアサイクルの実施を検討(県内30箇所くらのポート)
◎シェアサイクルは、一般的に収益が出ていない。交通施策の一つとして考えるべき

現在の山梨県における取組等

- ・ 乗り捨て可能なレンタサイクル(富士河口湖町との事業、2018年に民間事業となる)
- ・ 甲州市レンタサイクルぐるりん(甲州市)
- ・ レンタサイクル@道の駅富士川(道の駅富士川とNPOが連携してスポーツタイプ自転車等のレンタサイクル事業を実施)

取組(案)

- ・ シェアサイクル等の導入支援方策の検討(市町村間連携支援含む)

甲州市レンタサイクルぐるりん【甲州市】

- 甲州市はドコモのバイクシェアシステムを利用したレンタサイクルを提供している
- ポートは甲州市役所・勝沼駅・塩山駅の3箇所に設置



出典(画像): 甲州市移住支援ポータルサイト

モバイクバイクシェアリング【モバイク・富士急行】

- 富士急行と中国のモバイクが提携し、富士北麓地域にシェアサイクルを展開
- 富士急行の駅やホテル等の施設17箇所にポートを設置、今後増設の可能性あり



出典(画像): 富士急行 フジヤマNAVI



山梨県における施策の方向性(案) 自転車ネットワーク計画の策定

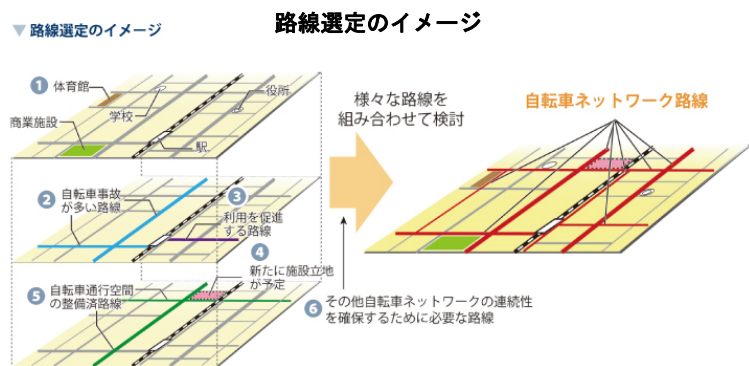
背景	山梨県における施策の検討	
	課題 (第1回委員会資料)	◎地勢上の特徴を活かすため、エリア別に施策を展開する必要がある
委員意見 (第1回委員会)	◎自転車で走りやすい道をつないでネットワーク形成することを検討 ◎自転車ネットワーク計画を組み込んだ計画 ◎重点地域の設定を検討(自転車の乗りやすい地域を高めていく)	

現在の山梨県における取組等
—

- 取組(案)**
- 市町村間を結ぶ広域サイクリングネットワークに加え、拠点施設やサイクリングロード、イベント等で利用されたコース等を活用した「山梨県自転車ネットワーク計画(仮称)」の策定
 - 利用者層に応じた整備の重点地域の設定検討
 - 市町村の自転車ネットワーク計画に対し、県が保有する情報の提供等の策定支援
 - サイクリング環境の創出やサイクリングロード網の再構築に関する検討

自転車ネットワーク計画とは

- 自転車ネットワーク計画とは安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態等を示した計画のこと
- 山梨県においては、ネットワーク計画において日常利用だけでなく、観光利用を想定した自転車通行空間を、市町村と連携しながら整備することが求められる



出典(画像):
 (左) 国土交通省関東地方整備局HP
 (右) 地方版自転車活用推進計画作成の手引き(案)





山梨県における施策の方向性(案) 自転車通行空間の整備

山梨県における施策の検討	
課題 (第1回委員会資料)	◎地勢上の特徴を活かすため、エリア別に施策を展開する必要がある
委員意見 (第1回委員会)	◎歩道を狭めて、自転車通行空間を確保することを検討
	◎道路改良時は、自転車専用通行帯などの整備が必要
	◎安全対策に資する路面標示の実施(幹線道路・観光道路だけではなく、通学路や農道等、自転車と車が共存できるよう、幅広く矢羽根等を引いてほしい)
	◎サイクリングルートにおける安全対策のガイドラインの策定(現在、どこの県にも存在しないため、策定すればトップランナーになれる)

現在の山梨県における取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・甲府市自転車通行環境モデル地区(甲府市丸の内周辺地区、甲府市朝日周辺地区) ・自転車専用通行帯の整備(甲府市内5カ所)

- 取組(案)**
- ・既存サイクリングロードの再整備(経年箇所補修等)
 - ・自転車の通行に配慮した道路整備(路肩幅の確保、路肩のフラット化、電線地中化等)
 - ・広域的な基幹農道(市町村維持管理農道)に対する県による一体的な整備
 - ・自転車道や自転車歩行者道の設置基準、道路の路肩幅員、幅員の再配分、路面標示等の基準について、山梨県独自のローカルルール作成

自転車通行空間整備【山梨県】

- 山梨県内でも自転車通行空間が整備されている事例が見られるが、甲府市内に集中しており、ネットワーク計画を策定し計画的に自転車通行空間を整備していくことが考えられる



山梨県の既存サイクリングロード

- 河川敷を中心にサイクリングロードが整備されている路線があり、これらを適切に維持管理していくことが求められる



出典(画像): 山中湖村観光課公式サイト



山梨県における施策の方向性(案) 自転車通勤の促進

背景	山梨県における施策の検討	
	課題 (第1回委員会資料)	◎通勤時の自動車から自転車への利用を促進し、市街地部の渋滞緩和と温室効果ガス排出量の抑制を推進する必要がある
委員意見 (第1回委員会)	—	

現在の山梨県における取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・やまなしエコ通勤トライアルウィークの実施 ・エコ通勤優良事業所認証制度 ・エコ通勤研修会 ・サイクル・アンド・ライドの実施（甲府市）

- 取組(案)**
- ・自動車通勤からの転換による環境負荷低減等の啓発活動（モビリティマネジメントの機会等※を利用）
 ※1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通政策、この講習会等が開催される機会を活用
 - ・エコ通勤・エコ通学トライアルウィークおよびエコ通勤優良事業所認証制度の周知

エコ通勤の促進【山梨県】

■すでにエコ通勤への取組として「エコ通勤・エコ通学トライアルウィーク」「エコ通勤優良事業所認証制度」が運用されているが、より周知に力を入れ活動を推進していくことが必要である

エコ通勤・エコ通学トライアルウィーク

事業所・学校単位で参加を募集し、トライアルウィークの1週間は（1日のみでも可能）、マイカー以外の交通手段（徒歩・自転車・バス等）を利用して通勤等にチャレンジしてもらう



エコ通勤優良事業所認証制度

トライアルウィークだけでなく、継続的にエコ通勤に関する取組みを積極的に推進している事業所を認証登録し、その取組を紹介する制度
県内では2社が認定を受けている



出典（画像）：山梨県HP



山梨県における施策の方向性(案)

自転車の通行ルールについての啓発活動

背景

山梨県における施策の検討	
課題 (第1回委員会資料)	◎自転車利用者に対し通行ルールの周知とともに、自動車利用者に対して自転車通行を意識する啓発活動を推進する必要がある
委員意見 (第1回委員会)	◎外国人に対する交通ルールの啓発 ◎カーゴ(リアカー付)自転車のルール作り ◎幼児、小学生など小さなうちからの自転車に関する安全教育

現在の山梨県における取組等

- ・ 総合交通センター学習ルーム、体験コースの整備運用
- ・ 市町村の自転車ネットワーク計画策定に対する情報提供

取組(案)

- ・ 交通安全意識向上を図る広報啓発
- ・ 外国人を対象とした自転車安全運転周知の検討
- ・ 幼児及び保護者への幼児同乗ルールの周知の検討

交通安全運動の実施【山梨県内】

- 春と秋の全国交通安全運動に合わせて、県内各地で交通安全の啓発活動を行っている
- このような機会を活用しながら自転車の安全利用の広報啓発を行うことが考えられる



出典(画像) : 甲斐市HP

外国語サイクリングマップへの自転車通行ルールの掲載【瀬戸内しまなみ海道】

- 瀬戸内しまなみ海道(広島県尾道市-愛媛県今治市)では、自転車通行ルールを掲載した外国語のサイクリングマップを作成・配布している

Five Rules for Safe Cycling (Japan Police)

自行车安全利用5则

为了您的旅途快乐, 请遵守日本的交通法规。

- 原则上自行车要在车道上行驶, 不得在人行道上行驶, 特殊情况除外。
- 靠车道左侧通行。
- 人行道上的行人优先, 靠车道慢行。
- 遵守安全法规
 - A. 严禁饮酒驾车, 二人同乘或并驶
 - B. 夜间要点灯
 - C. 遵守交叉路口的信号灯
- 儿童要佩戴安全帽

在人行道上, 靠车道一侧靠左侧行驶

出典(画像) : しまなみ海道HP SHIMAP



山梨県における施策の方向性(案) 自動車運転者に対する自転車へ配慮した運転の啓発活動

背景	山梨県における施策の検討		現在の山梨県における取組等
	課題 (第1回委員会資料)	◎自転車利用者に対し通行ルールの周知とともに、自動車利用者に対して自転車通行を意識する啓発活動を推進する必要がある	◎矢羽等の道路標示の自動車・自転車利用の周知 ◎「思いやり1.5m運動」を取り入れられると良い
委員意見 (第1回委員会)			

- 取組(案)
- 交通安全運動等の機会を利用した、ポスター掲示やチラシ配布による啓発活動
- ※「自転車ネットワーク計画の策定」および「自転車通行空間の整備」と連携して実施（矢羽根等の路面標示や標識の設置など）

思いやり1.5m運動の啓発【愛媛県】

思いやり1.5m運動

自動車等の運転者に対し、自転車の側方を通過するときは1.5メートル以上の安全な間隔を保つか、又は徐行していただくよう呼び掛ける運動

主な活動内容

- 「自転車安全利用の日」等に街頭での自動車へのアピール
- 啓発用マグネットプレートの公用車への貼付
- 思いやり1.5m運動協力事業所の募集
自動車を業務に使用している事業者等で、思いやり1.5m運動の実践および広報啓発活動に参加してくれる事業所を指定
- 「思いやり1.5member」の募集
イベントやサイクリング時に県から贈呈されるオリジナルジャージを着用し運動をPRしてもらう

出典(画像): 愛媛県HP





山梨県における施策の方向性(案)

自転車損害賠償保険等への加入促進

背景

山梨県における施策の検討

現在の山梨県における取組等

課題
(第1回委員会資料)

—

委員意見
(第1回委員会)

◎自転車保険（賠償責任保険）についても検討が必要

—

取組
(案)

- 自転車損害賠償保険等への加入促進

自転車保険の普及啓発【横浜市（神奈川県）】

周知用チラシ

- 周知ポスター、周知チラシを作成し、自転車利用者が集まる駐輪場等で掲載、配架等を行っている
- 自転車交通安全啓発のリーフレットに「自転車保険」に関する記事を掲載し、啓発活動を行っている
- 交通安全キャンペーン時に民間保険会社と連携し、専門家の保険相談会や加入促進のチラシ配布を行った



出典（画像）：横浜市HP
自転車等施策検討協議会資料

保険会社との事業連携協定【大阪府】

- 損保会社と事業連携協定を締結し、大阪府の自転車条例に合わせた保険商品を創設したり、条例の周知および交通安全教育等に取り組んでいる
- 大阪府のホームページ事業連携協定を締結した損保会社の一覧を掲載して「おおさか版」の自転車保険を広報している
- 損保会社の保険料収益の一部は大阪府への寄付にあてられる



※H28年7月より加入義務化

出典（画像）：大阪府HP



山梨県における施策の方向性(案) 学校等における交通安全教室の実施強化

背景

山梨県における施策の検討

課題 (第1回委員会資料)	◎自転車利用者に対し通行ルールの周知とともに、自動車利用者に対して自転車通行を意識する啓発活動を推進する必要がある
委員意見 (第1回委員会)	◎幼児、小学生など小さなうちからの自転車に関する安全教育 ◎中学生への安全教育が重要 ◎行動変容を促すためのプログラム制度が構築できると良い ◎境川自転車競技場を使った親子を対象とした自転車教育を検討

現在の山梨県における取組等

- 交通安全教育車「さちかぜ号」による子供、高齢者を対象とした交通安全教室開催
- 各学校での交通安全教室

取組(案)

- 発達段階に応じた交通安全教室の実施および教材の作成
- 交通安全教育に関するプログラム制度化の推進
- 疑似体験を取り入れた交通安全教育の実施
- 自転車施設を活用した交通安全教育の実施
- 交通安全教室の講師へ向けた講習会実施
- 小・中・高等学校へ自転車の安全運転を周知

発達段階に応じた交通安全教室の実施【富士吉田市】

- 富士吉田市では学齢に合わせた教材を用いて交通安全教室を行っている
- 低学年では間違い探しを用いたり、高学年ではDVDを教材に交通ルールについて学んでいる
- 幼稚園から高齢者まで幅広い年齢に合わせた交通安全教室を行っている



出典(画像)：富士吉田市HP

山梨県総合交通センターの活用【山梨県】

- 山梨県総合交通センターを訪れて交通ルールを学んでいる学校もあり、コースを歩いたり実走しながらのルールの学習や、自転車運転シュミレーターの体験も行える
- 幅広く適切に交通安全教室への活用が期待される



出典(画像)：駿台甲府小学校HP



山梨県における施策の方向性(案) 災害時における自転車活用の推進

背景

山梨県における施策の検討

- 課題 (第1回委員会資料) ◎災害時における自転車利用方法を周知する必要がある
- 委員意見 (第1回委員会) ◎災害時に自転車を活用できる仕組み(普段からの自転車を利用する仕組み)

現在の山梨県における取組等

- 共用自転車の設置

取組(案)

- 災害時における自転車活用の検討
- 自治体等の庁舎等への自転車配備

災害時の状況把握のための自転車配備【国土交通省富山河川国道事務所】

- 新潟県中越地震で被災現場まで自動車が入れず、徒歩による調査・確認を余儀なくされたのを受け、被災状況調査を迅速に実施するため、機動性の高い自転車を道路パトロール車に配備した



出典(画像)：国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所HP

共用自転車の設置【山梨県】

- 省エネや地球温暖化対策の一環として、近場の用務に使用いただけるよう設置(県庁職員だけでなく近隣の方も利用可能)、県庁構内の放置自転車を活用し現在8台導入(災害時の活用にも寄与)





山梨県における施策の方向性(案)

自転車を活用した健康増進の推進

背景

山梨県における施策の検討	
課題 (第1回委員会資料)	◎高齢者も含め、幅広い世代の健康増進が必要である（自転車を活用した健康づくりの促進） ◎自転車を活用した健康効果の周知や健康増進を応援する仕組みづくりが必要である
委員意見 (第1回委員会)	◎高齢者になる前からの自転車を利用する仕組み

現在の山梨県における取組等

—

取組(案)

- ・健康づくり（身体活動量を増やすために自転車活用）に関する研修会の開催
- ・自転車による健康効果等の啓発
- ・自転車競技施設における健康増進イベント等の導入の検討

自転車活用による健康効果の講義【徳島県】

- 徳島県では、メタボ予防・改善や健康づくりを推進するために自転車を活用する取組みのひとつとして、健康づくりプログラム「健康サイクリング部」を実施している
- プログラムには講義の他、実践トレーニングも組み込まれている



出典(画像) : 自転車王国とくしまHP

健康効果の啓発パンフレット作成【(一社)日本自転車普及協会】

- 日本自転車普及協会では、健康的な自転車の利用を広報・啓発することを目的に、健康効果をまとめた「自転車に乗って健康になろう」を発行している



出典(画像) : 一般社団法人日本自転車普及協会「自転車に乗って健康になろう」パンフレット



山梨県における施策の方向性(案)

自転車競技施設の活用

山梨県における施策の検討

課題
(第1回委員会資料)

◎特徴的な自転車競技施設等を広報することで、サイクルスポーツ振興を支援する必要がある

委員意見
(第1回委員会)

—

現在の山梨県における取組等

- 境川自転車競技場の整備と活用
- 森林公園金川の森の乗り物広場・マウンテンバイクコース・サイクルステーションの整備と活用
- 穂坂自然観察園の自転車散策道の整備と活用

取組(案)

- ・ 自転車競技施設の県民への開放

境川自転車競技場【笛吹市】

- 公益財団法人日本自転車連盟公認の自転車競技場 (400m)
- 通常トラック競技場は危険防止のため利用者を限定しており、初心者が利用する場合は所長による講習を必須として行っている
- 走路内広場は原則団体利用であれば選手以外の利用が可能、東京パラリンピックの開催を控えハンドサイクル走行体験会が実施された



出典(画像) : 山梨県教育委員会 やまなしスポーツ情報ネット

ジュニア自転車競技教室の開催【明石市(兵庫県)】

- 明石市は明石公園自転車競技場において「兵庫県ジュニア自転車競技教室」を兵庫県自転車競技連盟に委託して開催
- 小学校高学年～高校生までを対象に、自転車競技の基本技能の習得と、自転車競技に親しむきっかけづくりを目的としている



出典(画像) : 明石市HP



山梨県における施策の方向性(案) タンデム自転車の活用促進の検討

背景	山梨県における施策の検討		現在の山梨県における取組等
	課題 (第1回委員会資料)	—	委員意見 (第1回委員会)

・タンデム自転車公道走行の解禁（平成30年4月1日より）

取組(案)
・タンデム自転車の活用促進の検討

タンデム自転車体験会の開催【山梨県警察】

- 平成30年4月1日よりタンデム自転車の公道走行が解禁となることを受け、平成30年2月27日に山梨県警はタンデム自転車の乗り方体験会を実施
- 視覚障害者や市町村の担当者ら約50名が参加



ユニバーサルポタリング大会の開催【中津市（大分県）】

- 障がいのある方のみならず、障がいのない方も含め、誰もが楽しめることを目的とする共生社会推進レクリエーション事業として実施
- タンデム、ウォーキング、車いすなどそれぞれの方法で耶馬溪を楽しむ



出典（画像）：中津市HP



山梨県における施策の方向性(案) 通勤や業務における自転車の活用

背景

山梨県における施策の検討

課題 (第1回委員会資料)	◎公用自転車の導入や自転車を使用した業務活動等への支援が必要である
委員意見 (第1回委員会)	—

現在の山梨県における取組等

- ・ 共用自転車の設置

取組(案)

- ・ 業務における自転車活用の推進
- ・ 自転車通勤の促進【再掲】

共用自転車の設置【山梨県】(再掲)

- 省エネや地球温暖化対策の一環として、近場の用務に使用いただけるよう設置(県庁職員だけでなく近隣の方も利用可能)、県庁構内の放置自転車を活用し現在8台導入



エコ通勤・エコ通学トライアルウィーク【山梨県】(再掲)

- 事業所・学校単位で参加を募集し、トライアルウィークの1週間は(1日のみでも可能)、マイカー以外の交通手段(徒歩・自転車・バス等)を利用して通勤等にチャレンジしてもらう



出典(画像) : 山梨県HP